

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立花保小学校 校長 半田 英雄

1 学校教育目標

- 心豊かで思いやりのある子ども ○自ら進んで考え、工夫する子ども
○健康でねばり強い子ども ○たがいに協力し、進んで実行する子ども

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度

- 幅広く読書に親しみ、様々な知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることができる力を育てる。
○様々な活動や学習を通して、読書に興味をもち、日常的に読書に親しむ態度を養う。
○探究的な学習の目的に応じて、主体的に必要な情報を幅広く収集し、選択し、課題を解決する能力を育てる。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 111,71冊（蔵書基準冊数 10,360冊）／蔵書率 107%（前年度 101%）									
	② 新規購入図書 495冊／廃棄図書 500冊／増減冊数 -5冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.2%	1.4%	6.8%	7.5%	12.0%	5.4%	3.9%	7.6%	4.4%	48.8%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8:30～16:30（前年度からの変更 あり <u>なし</u> ）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 36.1冊（前年度：29冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 60.5%（前年度：44%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 10,695冊（蔵書基準冊数 10,212冊）／蔵書率 112%									
	② 新規購入図書 544冊／廃棄図書 1082冊／増減冊数 -538冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	6%	8%	12%	5%	4%	8%	4%	50%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8:30～16:30（前年度からの変更 あり <u>なし</u> ）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 34.9冊（前年度末：36.1冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 50%（前年度末：60.5%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書をしたり、読み語りを聞いたりする態度を育てる。 ②学校図書館の利用方法を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	達成基準	
①学校図書館を利用し、本を借りて読書することができる。	①90%以上の児童が月間10冊以上の本を読み、読書記録を記入する。 （担任や学校図書館支援員の読み語りも含む。）	
②担任や学校図書館支援員の読み語りを楽しんで聞くことができる。	②各クラス月3回以上、学校図書館を利用した読書、読み語り等の授業を行う。	
③学校図書館オリエンテーションを通して、学校図書館の利用方法を知ることができる。	③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。	
目標達成状況		

- ①95%の児童が月間読書量10冊以上を達成した。
- ②固定時間割に「図書」を設定したことで、週1時間必ず学校図書館を利用し、本を借りて読書をしたり、担任や学校図書館支援員の読み語りを聞いたりして、多くの本に触れることができた。
- ③学校図書館支援員によるオリエンテーションを全学級実施することができ、全員が新型コロナウイルス感染症に対応した本の貸出と返却の方法を覚えることができた。

第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな読み物に興味をもち、知りたいこと、読んでみたい内容から本を選び、楽しんで読書をしたり、読み語りを聞いたりする態度を育てる。 ②学校図書館の利用方法を確実にし、きまりを守って利用する態度を育てる。
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ①自分の興味のある本を選んで、読書をするができる。 ②担任や学校図書館支援員の読み語りを楽しんで聞くことができる。 ③学校図書館オリエンテーションを通して、学校図書館の利用方法を確かめ、きまりを守って利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①90%以上の児童が月間10冊以上の本を読み、読書記録を記入する。 (担任や学校図書館支援員の読み語りも含む。) ②各クラス月3回以上、学校図書館を利用した読書、読み語り等の授業を行う。 ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。

目標達成状況

- ①95%の児童が月間読書量10冊以上を達成した。
- ②固定時間割に「図書」を設定したことで、週1時間必ず学校図書館を利用して、本を借りて読書をしたり、担任や学校図書館支援員の読み語りを聞いたりして、多くの本に触れることができた。
- ③学校図書館支援員によるオリエンテーションを全学級実施することができ、全員が新型コロナウイルス感染症に対応した本の貸出と返却の方法を覚えることができた。

第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ②進んで学校図書館を利用する態度を養い、課題解決に向けて、資料や情報を集めて活用できるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ①自分の興味のある本だけでなく、学習に関連する本についても読書することができる。 ②事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめることができる。 ③学校図書館オリエンテーションを通して、本のグループ分けや配置について理解する。また、課題解決に必要な本などを選んで読書することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①80%以上の児童が月間200ページ以上本を読み、読書記録を記入する。 ②各クラス月1回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。 ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。

目標達成状況

- ①61%の児童が月間読書量200ページ以上を達成した。
- ②授業時数の関係で「図書」の時間を取ることができなかつたが、図書館支援員と連携をして、学習内容に関連した図書を学年の廊下や教室に置き、授業中に活用できるようにした。
- ③新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オリエンテーションは実施できなかつたが、中学年向けの学校図書館利用案内を作成して配付し、学校図書館の利用方法の周知を図った。

第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ②進んで学校図書館を利用する態度を養い、課題解決に向けて、多様な資料や情報を集めて活用できるようにする。
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ①自分の興味のある本だけでなく、学習に関連する本についても読書することができる。 ②事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ③学校図書館オリエンテーションを通して、本のグループ分けやラベルの見方、配置について理解する。また、課題解決に必要な本などを選んで読書することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①80%以上の児童が月間200ページ以上本を読み、読書記録を記入する。 ②各クラス月1回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。 ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。

目標達成状況	
<p>①39%の児童が月間読書量200ページ以上を達成した。</p> <p>②授業時数の関係で低学年のように授業時間に「図書」の時間を取ることができなかったが、図書館支援員と連携をして、学習内容に関連した図書を廊下や教室に置き、授業中に活用できるようした。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オリエンテーションは実施できなかったが、中学年向けの学校図書館利用案内を作成して配付し、学校図書館の利用方法の周知を図った。</p>	
第5学年	<p>①適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広げようとする態度を育てる。</p> <p>②進んで学校図書館を利用する態度を養い、目的に応じて、計画的に資料や情報を集めて、適切に活用できるようにする。</p>
今年度の成果目標	達成基準
<p>①興味のある事柄について、適切な本や新聞などを選び、読書することができる。</p> <p>②複数の本や新聞などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。</p> <p>③学校図書館オリエンテーションを通して、日本十進分類法について理解する。また、請求記号を手がかりにして、目的に応じて、必要な本などを選んで読書することができる。</p>	<p>①70%以上の児童が月間300ページ以上本を読み、読書記録を記入する。</p> <p>②各クラス月1回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。調べる学習コンクールに全児童が参加する。</p> <p>③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。</p>
目標達成状況	
<p>①24%の児童が月間読書量300ページ以上を達成した。</p> <p>②授業時数の関係で「図書」の時間を取ることができなかったが、図書館支援員と連携をして、学習内容に関連した図書を教室に置き、授業中に活用できるようした。夏季休業中の課題として「図書資料を活用した自由研究」に取り組みせることで、休業前に図書館を利用する児童が増えた。図書館を使った調べる学習コンクールへの参加率は93%であった。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オリエンテーションは実施できなかったが、高学年向けの学校図書館利用案内を作成して配付し、学校図書館の利用方法の周知を図った。</p>	
第6学年	<p>①適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広げようとする態度を育てる。</p> <p>②進んで学校図書館を利用する態度を養い、目的に応じて、計画的に資料や情報を集めて、適切に活用できるようにする。</p>
今年度の成果目標	達成基準
<p>①興味のある事柄について、適切な本や新聞などを選び、読書することができる。</p> <p>②複数の本や新聞などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。</p> <p>③学校図書館オリエンテーションを通して、日本十進分類法について理解する。また、請求記号を手がかりにして、目的に応じて、必要な本などを選んで読書することができる。</p>	<p>①70%以上の児童が月間400ページ以上本を読み、読書記録を記入する。</p> <p>②各クラス月1回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。調べる学習コンクールに全児童が参加する。</p> <p>③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。</p>
目標達成状況	
<p>①16%の児童が月間読書量400ページ以上を達成した。</p> <p>②授業時数の関係で「図書」の時間を取ることができなかったが、図書館支援員と連携をして、学習内容に関連した図書を学年の廊下に置き、授業中に活用できるようした。夏季休業中の課題として「図書資料を活用した自由研究」に取り組みせることで、休業前に図書館を利用する児童が増えた。図書館を使った調べる学習コンクールへの参加率は86%であった。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オリエンテーションは実施できなかったが、高学年向けの学校図書館利用案内を作成して配付し、学校図書館の利用方法の周知を図った。</p>	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p>【蔵書・配架等に関すること】</p> <p>・展示や掲示の仕方を工夫できるようにするために、書架にゆとりをもたせる。そのために準備室に保管している</p>	<p>・蔵書点検を行い、複本や準備室に保管していたものを廃棄して、書架に余裕をもたせることができた。図書の表紙を向けて展示することができるようになり、児</p>

<p>図書資料を貸出などに活用できるよう、書架整理、PCデータ処理など資料の把握に取り組む。</p>	<p>童に関心をもたせることに繋がった。 <ul style="list-style-type: none"> 定期的な貸出延滞者リストを作成して、担任や児童に返却を呼び掛けたことで、年度末の貸出返却率は100%を達成した。 </p>
<p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> 低、中、高学年向けの図書館利用案内を作成し、それを活用して、全学年に学校図書館オリエンテーションを実施する。 調べ学習等では、ICT機器と併せて図書資料を活用できるように、必要な図書資料の収集を10日前までに依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月毎に季節の行事や学校行事、時事に関する図書を低・中・高学年向けに選書し、表紙が見えるように平台に配架することができた。また、廊下掲示板と学校ホームページにも掲載したことで、貸出数の増加に繋がった。 学校図書館支援員から調べ学習で活用できる資料提供をしていただき、授業で活用することができた。
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区立図書館が発行している読書通帳を配付し、校内で使用できるようにする。 区立図書館への団体貸出申請を利用して、調べ学習等で児童一人一人に図書資料が十分に行き渡るようにする。 区立図書館員によるブックトークや読み語りを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に関連した図書資料を収集するために、区立図書館に団体貸出を申請して、各学年、学級に提供することができた。 区発行の読書通帳の配付や区立図書館員によるブックトークは行わなかった。 公立図書館について知り、日常的な利用にもつなげていくことができると思われるため、次年度以降検討する。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- 児童一人あたりの年間平均貸出冊数は昨年度から1.2冊減。1か月に2冊以上読む児童の割合は昨年度から10.5%減であった。徐々に様々な教育活動が通常通りに行うことができるようになり、休み時間の来館者数が減り、図書の貸し出し冊数が減少してしまった。高学年には、年間で1.2回程度しか利用していない児童もいる。年度初めに全学年に学校図書館オリエンテーションを実施する時間や学級で図書館を利用する時間を確保できるように努める。また、読書月間や図書委員会の活動と関連させた企画を実施し、読書活動の楽しさや有効性を児童自身が実感できるようにしていく必要がある。
- Chromebookやタブレット端末が導入されてから、インターネット検索で情報を得ることが増えた。しかし、情報活用能力が十分に身に付いていない児童もおり、掲載内容を転写していることが多い。今一度、インターネットの情報よりも普遍性、信頼性が高い図書資料を用いて、情報活用能力の育成を図っていくことが重要であると思われる。そのためにも学校図書館の環境を学習センター、情報センターとして、機能させることができるように整備していくことが必要である。
- 司書教諭と学校図書館支援員が運営方針を共有して、読書活動を推進することができた。学校図書館内だけでなく、学校ホームページを活用して推薦図書を掲載する等、児童や保護者がいつでも、どこでも図書に関する情報を得ることができるようにすることができた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

令和4年度保護者による学校評価「お子さんは毎月読書をしている。（1・2年生10冊以上、3・4年生200ページ、5年生300ページ、6年生400ページ以上）」では、肯定的評価45.7%、否定的評価51.7%、分からない2.6%であった。児童は、朝読書や授業等で読書活動を行っているが、児童が読書記録を記載していなかったり、記録を取っていても保護者が把握していなかったりすることがある。児童、保護者に向けて、読書記録カードの活用方法を周知していく必要がある。